

北海道高体連より

*新型コロナウイルス感染症に対する大会・会議・部活動等に関する対応について

○令和2年4月1日に新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」が通知されました。

- 1 国内の状況は新規感染者数は日ごとの差はあるものの、1日1000人を超え、累積感染者数は2000人を超えるに至っている。特に都市部を中心に感染者数が急増している。
- 2 北海道は感染確認地域に指定され
 - ①人の集まるイベントや「3つの密」を徹底的に回避する対策をしたうえで、感染拡大のリスクの低い活動については実施する。
 - ②具体的には、屋内で50名以上が集まる集会・イベントへの参加は控えること。
 - ③また、一定程度に収まっているように見えても、感染拡大の兆しが見られた場合には、感染拡大のリスクの低い活動も含めて対応を更に検討していくことが求められる。
- 3 「3つの密」① 換気の悪い密閉空間 ② 人が密集している ③ 近距離での会話や発声が行われている。

○北海道教育庁学校教育局健康・体育課より「学校の再開に伴う部活動の実施について」が通知されました。

- 1 部活動の大会については、5月中旬までの自粛を要請しているが、練習試合や遠征、合宿等についても同じ扱いとする。
- 2 **各競技における活動等の留意事項は次項にありますので参照してください。**
- 3 部活動再開後については、下記の条件を理解し実践すること。
 - (1) 人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施
 - ①参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い生徒の参加を認めない。
 - ②過去2週間以内に発熱や感冒症状で受信や服薬等をした生徒は参加させない。
 - ③感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内の生徒は参加させない。
 - ④体調不良の生徒が参加しないように、キャンセル代などについて配慮する。
 - ⑤発熱者や具合の悪い生徒が特定された場合には、接触感染の恐れがある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
 - ⑥練習場所に入る際の手洗いの実施ならびに、大会や部活動の途中でも適宜手洗いができるような場の確保
 - ⑦主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。
 - ⑧飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う。(例：「相手との距離を保つ」「声を出す機会を」最小限にする)「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場合にはマスクを着用する」など)
 - (2) 密閉空間・密集場所・密接場面などクラスター(集団)感染発生リスクが高い状況の回避
 - ①換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運転・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
 - ②人を密集させない環境の整備。練習する場所に入る人数を少なめにし、時間差を設けた工夫をする。
 - ③大きな発声をさせない工夫
 - ④共有物の適正な管理又は消毒の徹底
 - (3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力
 - ①参加した者の中に感染者が出た場合は、その他の生徒に対して連絡を取り、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡をとれる体制を確保する。
 - ②参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する。また、濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

※ 全国高体連としては、令和2年度のインターハイを実施するために、これに繋がる全道大会、地区大会は実施する方向で考えていますが、今後の各都府県の感染状況を踏まえながら検討する予定です。

また、道内高校生に大会や練習が原因と思われる感染者が出た場合、全ての活動及び大会等ができなくなる恐れもありますので、慎重に進めてください。

・今後の新型コロナウイルス感染症の推移及びスポーツ庁、道教委からの通知を見ながら、必要に応じて、最新の情報や追加的な留意事項を提供します。

(2.4.9)

運動部活動における活動等の留意事項

【屋外で活動する運動部活動】

No.	部活動名	共通の留意事項	運動の特性に応じた留意事項
1	陸上競技・駅伝	【活動前】 ・指導者は、生徒の健康観察等を行うとともに、体調の優れない生徒は参加させないこと ・更衣室は時間差で使用するなど、狭い空間での接触は避けること ・屋外で更衣する際でも、互いに距離をとること 【活動中】 ・指導者は生徒から距離をとって指導するとともに、簡潔な指示となるよう工夫をすること ・長時間の活動は避けること ・準備運動や整理運動はペア等では行わず、一人で行うこと ・集団でのランニング等は避けること ・大きなかけ声などの活動等は避けること ・練習中、順番を待つ際は、互いに距離をとること ・複数人が使用する器具等については、定期的に消毒すること ・水分補給のためのボトルなどは個人で用意し、回し飲みはしないこと 【活動後】 ・互いに接近したミーティング等は避けること ・ボール等の使用後の定期的な手洗いを徹底すること 【その他】 ・水飲み場の衛生管理に努めること ・物置や部室等の利用は、必要最小限とし、換気をこまめにおこなうこと ・マスクの着用が可能な練習メニューでは着用を推奨すること ・マスクの着用がない場合にはタオル等を準備し、咳エチケットの徹底を図ること	・競技中以外は極力マスクの着用を努めること
2	サッカー		・敵味方の接触がある状態での攻防の練習は避けること
3	野球・ソフトボール		・塁に走者をおいての牽制等の練習は避けること
4	ラグビー		・スクラムやタックルなどの身体接触を避けること ・仲間との距離をとったパス練習など、練習方法を工夫すること
5	テニス・ソフトテニス		・練習中（ボール拾い等も含め）は、仲間との距離を十分にとること ・準備や片付けの際は、最小限の人数で話をしないで行うこと ・ダブルスでの練習は避けること
6	ホッケー		・対人で向き合っている練習は避けること
7	自転車競技		・室内で練習する際は、複数での練習は避けること
8	アーチェリー		・行射（弓で矢を打つこと）、待機、回収時には他人と十分な間隔を取ること
9	カヌー・ボート		・ダブルスカル等、複数人が同乗することは避けること
10	ヨット		・競技中以外は極力マスクの着用を努めること
11	登山		・登山活動の休憩時には2m程度の距離をとるとともに、マスク（無い場合はタオル等）を着用すること ・野営技術（テントの設営及び調理練習）では、マスクを着用し、必要以上の接触がないよう注意すること ・テントでの複数人数の宿泊は当面の間、見合わせる
12	スキー		・ロッジの利用は、他の利用者からの距離をとり、できる限り短時間とすること ・ゴンドラは使用しないこと

【屋内で活動する運動部活動】

No.	部活動名	共通の留意事項	運動の特性に応じた留意事項
1	バスケットボール	【活動前】 ・指導者は、生徒の健康観察等を行うとともに、体調の優れない生徒は参加させないこと ・更衣室は、時間差で使用するなど、狭い空間での接触は避けること 【活動中】 ・指導者は、生徒から距離をとって指導するとともに、簡潔な指示となるよう工夫をすること ・長時間の活動は避けること ・準備運動や整理運動はペア等では行わず、一人で行うこと ・集団でのランニング等は避けること ・大きなかけ声などの活動等は避けること ・練習中、順番を待つ際は、互いに距離をとること ・活動場所が狭く、順番待ち等で密集した状態が起こる場合は、時間をずらして一度に活動する人数を減らすなどの工夫をすること ・複数人が使用する器具等については、定期的に消毒すること ・水分補給のためのボトルなどは個人で用意し、回し飲みはしないこと ・活動場所の喚気をこまめに行うこと 【活動後】 ・互いに接近したミーティング等は避けること ・ボール等の使用後の定期的な手洗いを徹底すること 【その他】 ・水飲み場の衛生管理に努めること ・マスクの着用が可能な練習メニューでは着用を推奨すること ・マスクの着用がない場合にはタオル等を準備し、咳エチケットの徹底を図ること	・仲間との身体接触を伴う練習は避けること ・対人で向き合っている練習は避けること
2	ハンドボール		・ネットの準備や片付けの際は、最小限の人数で話をしないで行うこと
3	バレーボール		・ネットや台の準備や片付けの際は、最小限の人数で話をしないで行うこと ・ダブルスの練習は避けること
4	バドミントン		・練習前後はシャワーを十分に浴びること
5	卓球		・補助を必要とする練習は避けること
6	水泳		・対人で密着した状態で行う練習は避けること ・一人で練習方法を工夫すること ※当該種目に必要な体力を高める運動、素振り等の攻防に必要な動きを高める運動、ゴムチューブやダミー人形などを用いた打ち込み練習等、礼法の練習、ICT 機器を活用した技術理解を深める練習など
7	体操競技・新体操		
8	柔道		
9	剣道		
10	なぎなた		
11	相撲		
12	レスリング		
13	空手道		
14	少林寺拳法		
15	フェンシング		
16	ボクシング		・シャドーやサンドバックを用いた練習にとどめ、スパーリングは避けること
17	弓道		・指導する際に距離をとること
18	ウェイトリフティング		・補助が必要な練習は避け、安全を確保するためのラック等を使用すること ・保護者の承諾を取ること ・仲間との距離は2m程度を空けること
19	アイスホッケー		・チェックなどの身体接触を避けること ・対人で向き合っている練習は避けること
20	スケート		・競技中以外は極力マスクの着用を努めること